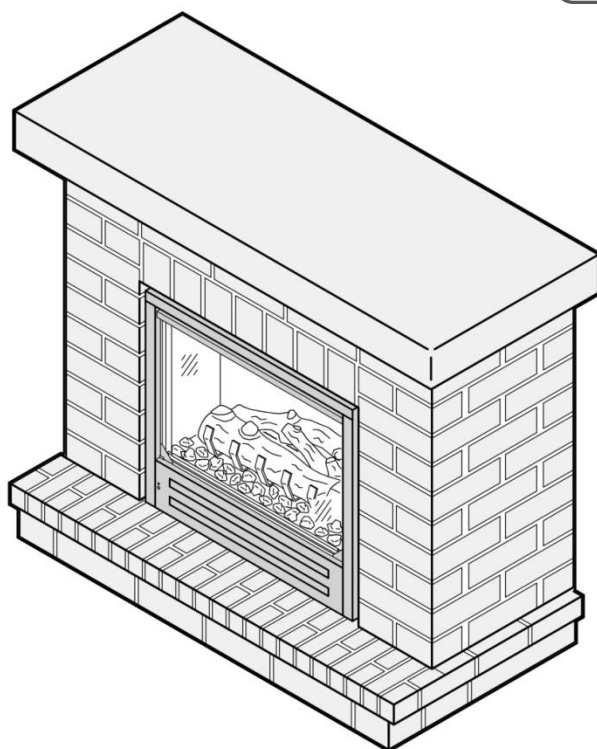


ガス暖炉

意匠 設計マニュアル

品名 DANROX320F

暖炉ユニット型式
DU320



この度は当社のガス暖炉をご検討頂き、誠にありがとうございます。
当マニュアルには『暖炉ユニット』を用いて、オリジナルな『ガス暖炉』を
設計して頂くための基本的事項を掲載致しましたので、何卒ご参照ください。

株式会社 **ダンロックス**

東京 TEL 03-3707-5631 FAX 03-3707-5632
大阪 TEL 06-6337-8651 FAX 06-6337-8652

仕 様

※本仕様は予告なく変更することがあります。

型 式		DU320
外 形 寸 法		高さ535 × 幅600 × 奥行325 mm
質 量		30kg
ガス消費量	「強」運転	2.91kW (2,500kcal/h)
	「弱」運転	1.51kW (1,300kcal/h)
暖房能力		2.91kW (2,500kcal/h)
暖房のめやす	木 造	8畳 (13.0m ²)まで
	コンクリート	11畳 (18.0m ²)まで
ガス接続		迅速継手付強化型小口径ガスホース (ガスコード 長さ1m同梱)
電気関係	電 源	AC100V (50/60Hz)
	消費電力	60W (50/60Hz)
	待機時消費電力	3.0W
	電源コードの長さ	1.5m(L型)
運転制御	点 火 操 作	リモコン方式 (本体操作も可能)
	点 火 方 式	連続放電ダイレクト点火
	室 温 設 定	「Lo」「18・20・22・24・26℃」「Hi」 (リモコン操作)
	能 力 切 換	「強」「弱」2段切換 (自動切換)
	給排気方式	開放式(FH)
	暖房方式	強制対流式
	タイマー点火	15分～12時間 15分刻み (リモコン操作)
	タイマー消火	1・2・3・4・5・8時間選択 (本体操作)
	温風遅延	バイメタルスイッチ
安全装置		<ul style="list-style-type: none"> ・立消え安全装置 ・不完全燃焼防止装置 ・過熱防止装置 ・室温異常消火装置 ・ファン回転検知装置 ・転倒時ガス遮断装置 ・フィルター目詰まり消火装置 ・消し忘れ防止装置(切タイマー) ・過電流防止装置 ・停電安全装置
出力コンセント		AC100V 1A(換気扇連動用)付
付 属 部 品		・標準部品一式 ・取扱説明書(保証書付)
製 造 ガス 種		12A 、 13A 、 LPG

※ ガス消費量、暖房能力、暖房のめやすは都市ガス13Aを表しています。

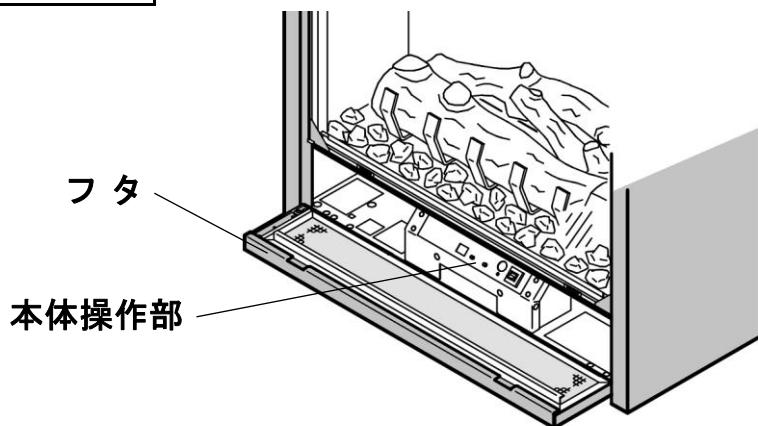
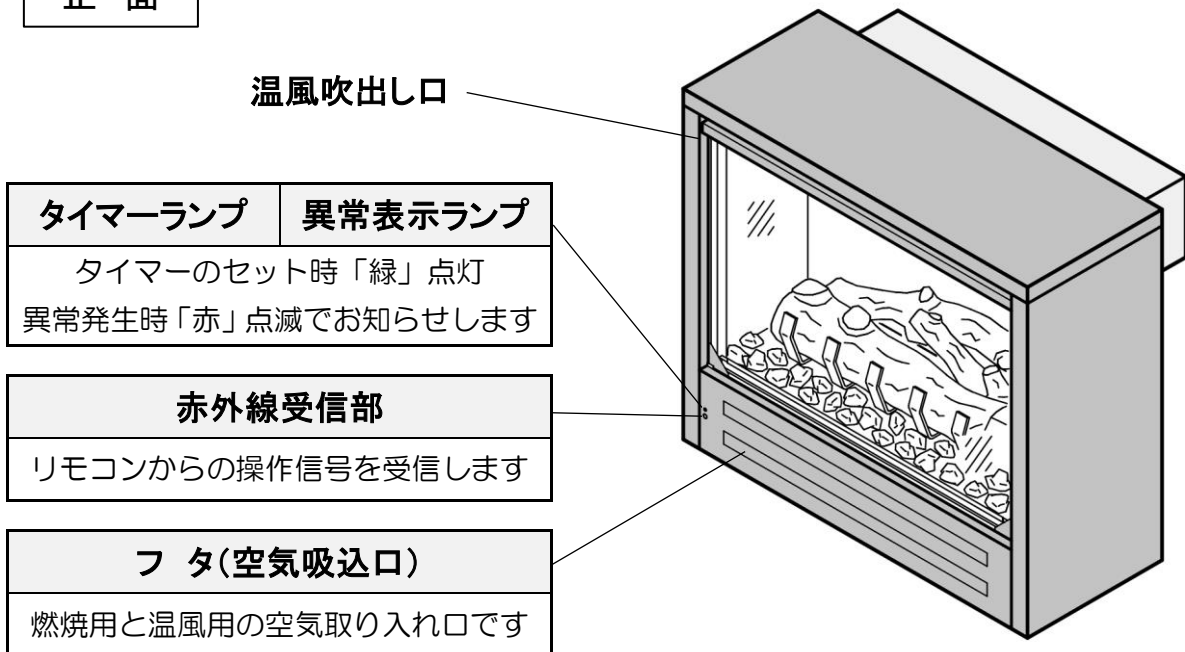
※ 暖房のめやすは「温暖地」を表しています。

断熱材が施してある場合は約1.2倍の広さがめやすとなります。

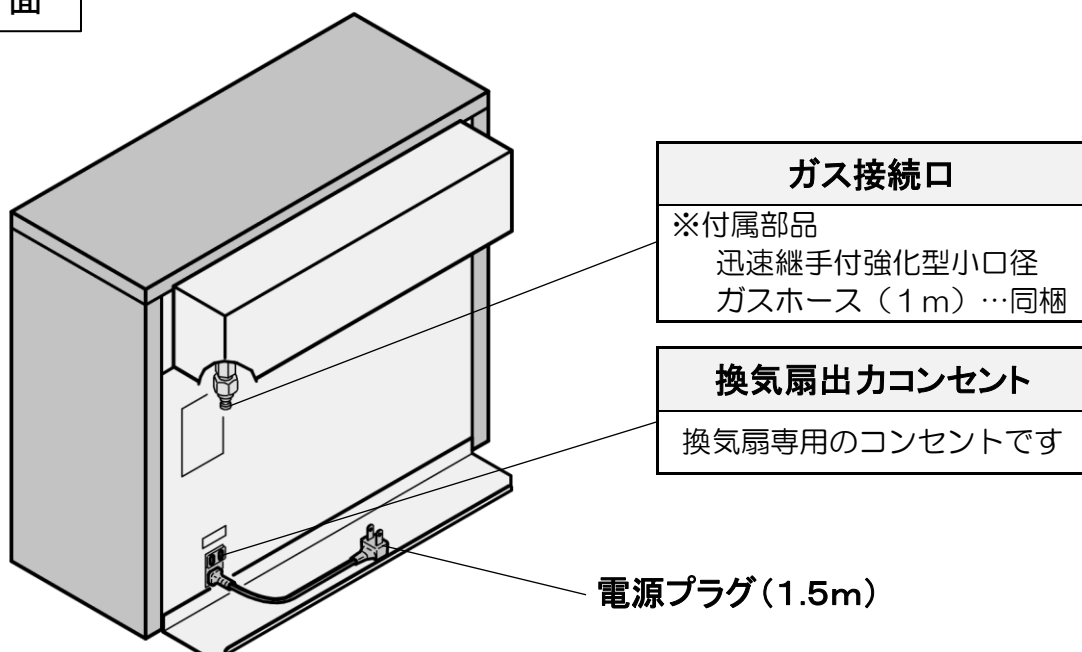
(一般社団法人 日本ガス石油機器工業会の自主基準)

■各部の名称 (暖炉ユニット)

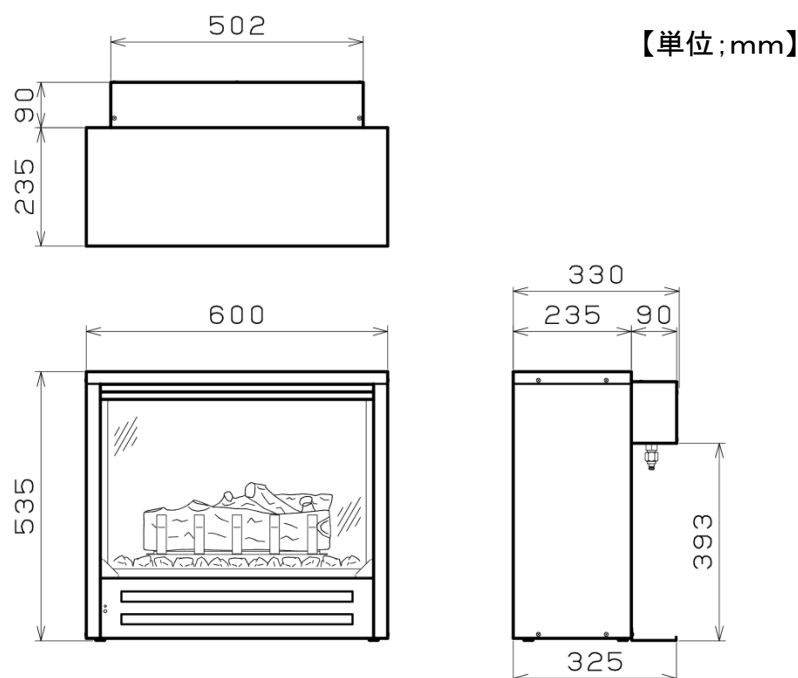
正面



背面



■外形寸法図 (暖炉ユニット)

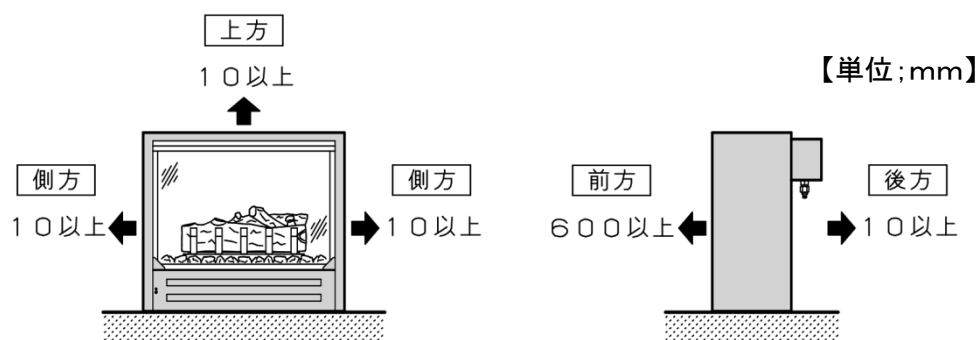


設計上のご注意

暖炉ユニットの周囲を装飾するマントルピースの設計に際しては、次の事項についてご注意願います。

■設計基準

- ・開口部前面は暖炉ユニットの点検や修理のためにスペースを十分確保してください。
- ・マントルピースの内壁は不燃石膏ボードで仕上げてください。
- ・暖炉ユニットと周囲の可燃物との離隔距離は次の寸法をとってください。



■付帯工事

電気工事

AC100V 電源コンセントが必要です。所定の場所に必ず設置してください。

ガス工事

ガス栓（コンセント型壁ヒューズコック）を所定の場所に必ず設置してください。

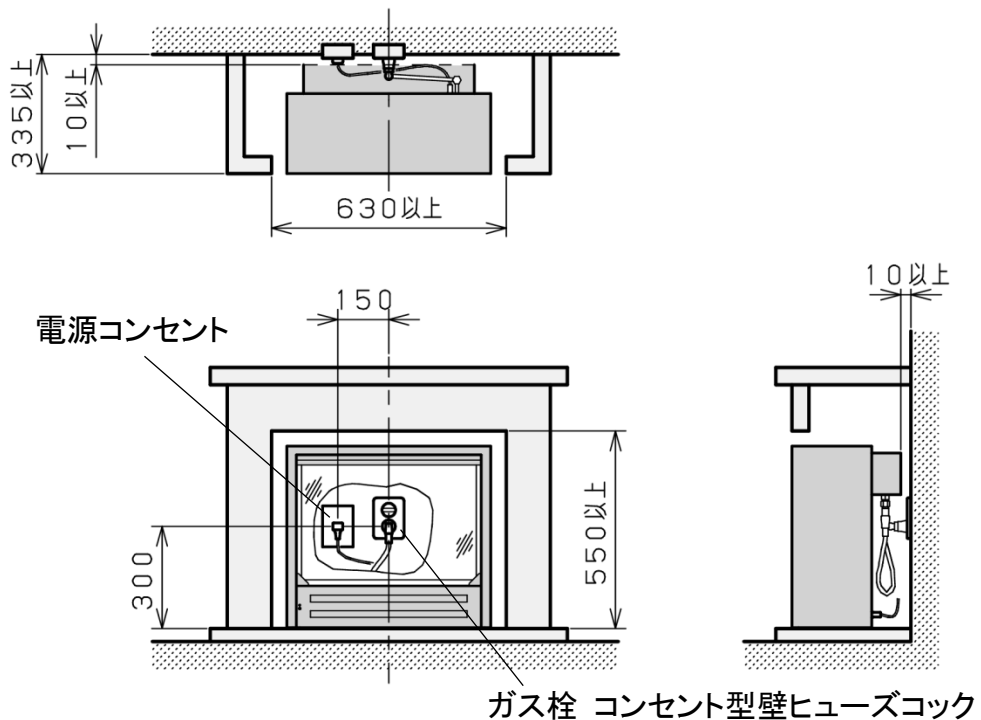
換気口設置について

天井に近い位置に容易に開閉できる換気口または換気扇を設けてください。
換気口の面積は100 cm²以上が必要です。

設置例

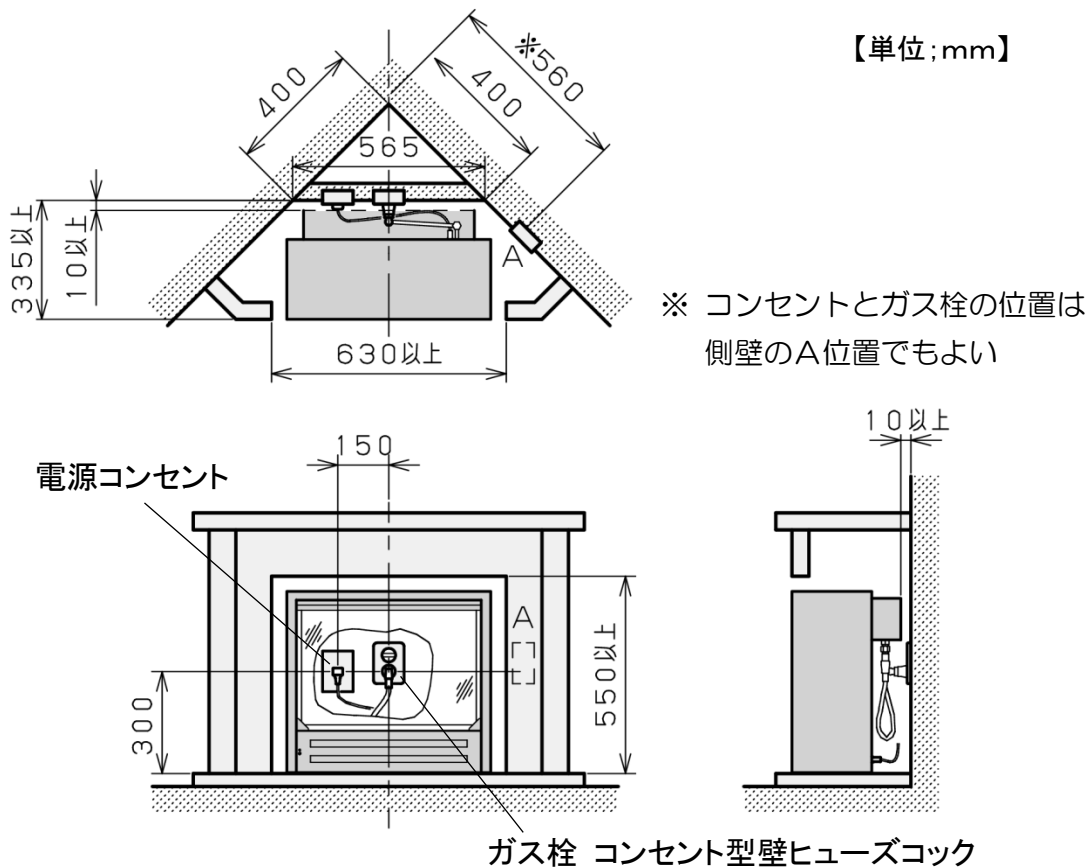
■標準設置例

【単位:mm】



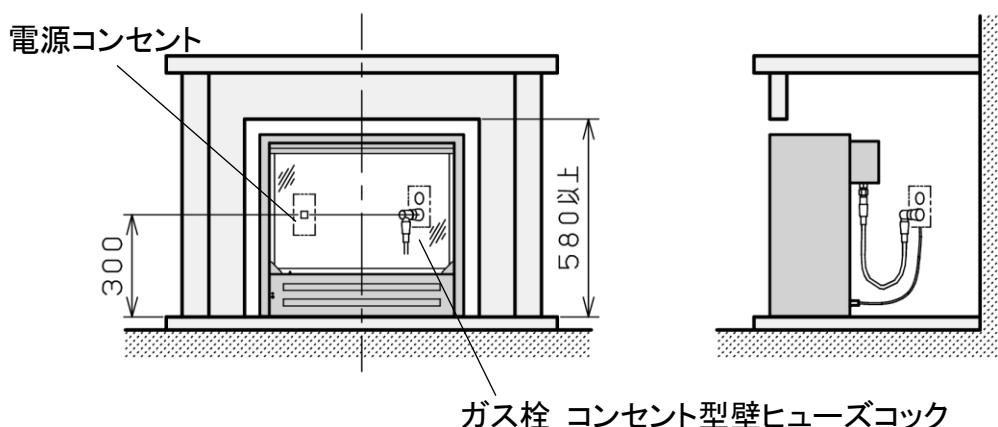
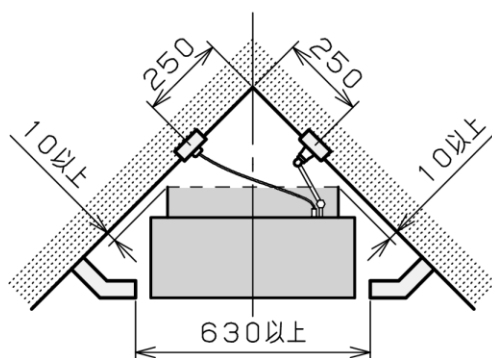
■コーナー設置例 ①

【単位:mm】



■コーナー設置例 ②

【単位:mm】



■一般注意事項

- マントルピース開口部寸法や奥行寸法は基準寸法を守ってください。
- ガス栓は、コンセント型壁ヒューズコックを指定してください。
- ガス接続ホースは強化型小口径ガスホース（ガスコード1m 同梱品）を使用してください。
- ガス栓と電源コンセントの位置は暖炉ユニットをマントルピースから引き出し、容易にガス栓の開閉や電源プラグの脱着ができる位置に施工してください。
- 暖炉ユニットをマントルピースから容易に出し入れできるようにガスコードと電源コードの長さには余裕を持たせてください。
- マントルピースの前面パネルと暖炉ユニットは同一面とし、暖炉ユニットが内側に入らないようにしてください。また、隙間（離隔距離部）をコーキング材などで埋めないでください。

